学校番号	1015

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史探究	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	世界史探究　（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・世界史探究は、歴史的なまなざし（歴史的事象に対して「なぜ」の視点をもち、考えようとすること）を養うために、教養的な知識も獲得していくため、古代から現代社会までをしっかりと学習していきます。
・われわれの生きる現代社会が、過去のいかなる政治・経済・文化・思想などの積み重ねのうえに成り立っているかを考えようとすることも、世界史の学習にとっては必要不可欠です。知識の正確な理解は大前提ですが、国際社会に生きるわれわれのくらしとのつながりを意識することも重要です。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
諸資史料に親しみ、歴史的考察力を培う。
【思考力、判断力、表現力等】
現代の諸課題を、近現代史を中心とする歴史と結び付け歴史的観点から考察することができる。
【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、国際社会に主体的に生きる個人としての自覚と資質を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	古代から現代までの世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。	現代世界の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	古代や中世では教養としての歴史を学び、それを楽しみ、近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する個人としての責務を果たそうとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1部　諸地域の歴史的特質の形成	1　古代文明	a:農耕と定住の関係を理解し、文明の発展について理解している。 b:遺跡から発掘されたものを見て人々の生活を読み解くことができる。 c:遺跡から当時の人々の生活を考えようとしている。	ワークシート	ワークシート 資料読解	ワークシート 発表
		2　東アジアと中央ユーラシア	a:中国での統一と分裂について流れを理解している。 b:アジアにおける中国の立場を資料などを活用して考察することができる。 c:中国が世界に与えた影響を推察する。	確認テスト 定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ワークシート
		3　南アジアと東南アジア	a:現在でも残るカースト制や仏教の成立について理解している。 c:なぜ仏教が成立したのかインドの社会も踏まえながら考えることができる。	確認テスト 定期考査 ワークシート		ワークシート
		4　西アジアと地中海周辺	a:キリスト教の成立などヨーロッパの原点などがここにあることを理解する。 b:民主主義の成立や法の変遷について民衆の動きとともに考察することができる。 c:ローマやギリシアの遺跡に興味をもち、その役割などを調べ発表することができる。	確認テスト 定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ワークシート

2学期		5　西アジア・地中海周辺の変動とヨーロッパの形成	a:西ヨーロッパ世界・東ヨーロッパ世界の形成について理解している。 b:中世においてカトリックやローマ教皇の影響力について資料を活用品が考察することができる。 c:カトリックと正教を比較してすることができる。	確認テスト 定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ワークシート
	第2部　諸地域の交流と再編	1　イスラーム圏の拡大とヨーロッパ社会の変容	a:イスラーム教の発展について理解している。 中世ヨーロッパの動揺について理解している b:アラブ帝国と言われたウマイヤ朝とイスラーム帝国と言われたアッバース朝を比較し考察することができる。 c:中世ヨーロッパの衰退の理由を現代社会にあてはめて考察しようとしている	確認テスト 定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート 資料読解	ワークシート
		2　中央ユーラシアと諸地域の交流と再編	a:モンゴル帝国の拡大について理解している。 b:元寇を主題としてモンゴル帝国の脅威について考察することができる。	確認テスト 定期考査 ワークシート	ワークシート	
		3　大交易時代	a:ヨーロッパの大航海時代の背景を理解している。 b:大航海時代がもたらした影響を資料や食文化から考察することができる。 c:日本とヨーロッパのつながりについて関心をもつことができる。	確認テスト 定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ワークシート
		4　アジア諸地域の帝国	c:現代のイランと比較をしながら主体的に学ぼうとしている。			ワークシート

		5 近世ヨーロッパの形成と展開	a:ルネサンスの作品作者を教養として身につける。主権とは何かを理解している。 b:ヨーロッパという共同体が国家中心となっていく過程を教皇権の衰退とともに考察することができる。 c:ルネサンス作品に興味をもつ。	確認テスト 定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート 資料読解	ワークシート 発表
	第3部 諸地域の結合と変容	1 産業革命と大西洋革命	a:産業革命における技術革新と社会の変化について理解している。 b:資料や図版を活用してイギリスの生活の変化や労働者の環境について考察することができる。 c:現代の産業社会との違いを見つけようとしている。	確認テスト 定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート 資料読解	ワークシート
		2 近代ヨーロッパ・アメリカの国民国家	a:現在誰もが持っている当然の権利がここで獲得されたことを理解している。 b:独立宣言や人権宣言から今までの社会・システムの違いを考察することができる。 c:今、自分たちが持つ当然の権利をどう活用していくのかを考える。	確認テスト 定期考査 ワークシート	ワークシート	ワークシート
		3 地球をおおう帝国主義と世界諸地域の抵抗	a:帝国主義について理解している。 b:なぜ、植民地支配の対象がアジア・アフリカだったのか。欧米の意識についていて資料を活用して考察することができる。 c:帝国主義の世の中について、自分自身の考えを持つことができる。	確認テスト 定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート 資料読解	ワークシート

3学期		4 第一次世界大戦と諸地域の変容	a:第一次世界大戦の流れを理解している。 b:ヨーロッパにおける民族の分布から、なぜバルカン半島が「ヨーロッパの火薬庫」と言われたのかを説明することができる。	確認テスト 定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート 資料読解	
		5 第二次世界大戦と戦後の国際秩序	a:世界恐慌からファシズムの台頭、第二次世界大戦の流れを把握している。 b:ドイツがなぜ国際社会に対立していくことになったのか、またナチスが支持された理由を資料等を活用しながら考察する。 c:ホロコーストなどナチスの政策について残虐な政策に批判することができる。	確認テスト 定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート 資料読解	ワークシート
	第4部 地球世界の課題	1 冷戦と現代世界	a:冷戦の対立構造について理解している c:朝鮮戦争やベトナム戦争から冷戦について考えることができる	確認テスト 定期考査 ワークシート		ワークシート
		2 世界経済の展開	c:南北問題等、世界の格差について考えることができる。			ワークシート 発表
		3 科学技術の時代と知識基盤社会	c:世界各地で起きている紛争を解決するために国際社会は自分自身に何ができるのかを考えている			ワークシート 発表

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度